

ががわ じま



議会だより

6月定例会

No.101

平成25年8月26日

6月定例会審議結果
委員会の動き

一般質問 町の考えを問う



納涼盆踊り大会（三保谷地区）

6月定例会

議案審議結果

平成25年6月定例会は、17日から21日までの会期5日間で開催されました。主な議題は、報告2件、条例制定2件、条例一部改正1件、補正予算3件、人事案件1件の審議をしました。なお一般質問は4名が登壇し活発な質問が展開されました。議案の審議結果は下記の通りです。

議案番号	議案内容	採決結果
議案第47号	町長等の給与の臨時特例に関する条例を定めることについて 東日本大震災に対処するため、国家公務員の給与減額措置が行われていること及び総務大臣からの要請を踏まえ、町長等の給与について特例による減額（期間：平成25年7月～平成26年3月末、月額：10%減）を行うものです。	賛成多数 原案可決
議案第48号	川島町一般職員の給与の臨時特例に関する条例を定めることについて 東日本大震災に対処するため、国家公務員の給与減額措置が行われていること及び総務大臣からの要請を踏まえ、一般職員の給与について特例による減額（期間：平成25年7月～平成26年3月末、月額：5.5%～2.5%減）を行うものです。	賛成多数 原案可決
議案第49号	川島町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて 道路法施行令及び道路整備特例措置法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第50号	平成25年度川島町一般会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ21,622千円を減額し、総額を6,238,378千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第51号	平成25年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第1号） 給与の特例減額措置に伴う給料の更正と人事異動に伴う更正減です。	全員賛成 原案可決
議案第52号	平成25年度川島町水道事業会計補正予算（第1号） 主要な建設改良事業を1,157千円減額し総額を88,386千円とし、収益的支出及び支出のうち支出を8,173千円減額し総額を516,612千円とするものです。資本的収入及び支出のうち支出を1,157千円減額し総額を162,456千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第53号	監査委員の選任について 監査委員 藤間紀弘 氏の任期が、平成25年7月12日で満了となるため、同氏を再任するものです。	全員賛成 原案可決

計画的に町道の整備を進める

●平成25年度川島町一般会計補正予算について

問 かわじま中央通りの道路改良の将来的な完成はどこまで目指しているのか。

答 3年計画で実施する予定です。

問 町道1-23号線の道路の組成断面について。

答 表層5cm、基層6cm、上層路盤15cm、下層路盤19cm、路床置き換え70cmで計画しています。

問 川島町白地地域まちづくり基本



かわじま中央通り

構想と町道3052号線の関連はどうなっているのか。

答 道路計画の測量の成果を取り入れた形の中で作成していくことで現在考えています。

●平成25年度川島町下水道事業特別会計補正予算について

問 一般職員給与更正減と期末手当、勤勉手当が更正減になっているが、減額の内容としては、新規採用者と退職者との差額分ということと考えてよいか。

答 主幹と主査が異動になり、その後任者と新規採用職員が配属になったことによる3名の異動に伴う差額分です。

●平成25年度川島町下水道事業会計補正予算について

問 企業人数が1名減になっているが1人あたりの仕事量の増加についてどう対応しているか。

答 1名減の対応については、業務を分散し、対応しています。オーバーワークという状況になっておりません。

風疹ワクチン予防接種に助成

○平成25年度川島町一般会計補正予算(第1号)

問 風疹ワクチン予防接種助成はどのように周知するのか。また新聞への周知掲載はやらないのか。

答 町の広報誌、ホームページ等で周知を図ってまいります。パブリ

問 助成金額は3千円とのことですが、実際の費用はどのくらいか。

答 費用は様々ですが、5千円から8千円という状況です。補助単価は他の市町村の助成状況を見た中で3千円となりました。

問 補正予算可決前に接種を受けた方は補助対象となりますか。

答 平成25年7月1日から平成27年3月31日の2年間で、施行前の方は対象になりません。

問 保育園の緑化委託事業はどのような緑化を、また2階は考えているか。

答 さくら保育園は1階に、ゴーヤへちま、あさがお等のグリーンカーテンとキウイフルーツ等の木を、けやき保育園ではグリーンカーテンを考えています。2階は危険がないよう検討します。



保育園グリーンカーテン(さくら保育園)

町の考えを問う

町政一般質問要旨

6月20日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p>栗岩 輝治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町における道路状況について ・育英資金貸付基金について 	<p>新井 悦子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物の駆除について ・病後児保育について ・骨髓ドナーの助成について 	<p>道祖土 証 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に対する町長の考え方について ・ごみ焼却施設に対する町長の考え方について ・小学校統合に対する町長の考え方について 	<p>佐藤 芳男 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町税の現況と見直しについて ・食育の促進について
---	--	--	---

問 当町に於ける道路状況について、天神橋～南園部の県道整備が一向に進展していない現状と理由は。

答 県土整備事務所の考えは、平成7年に関係地域から県知事あてに提出された「反対請願書」の取下げがないうちは県道整備の着手が困難であるとのこと。現在の町の考えは東西の基幹道路として位置付けており、事業の促進を図ること、地域の活性化に寄与できると考えています。

問 八幡団地内の道路状況は、道路工事等による亀裂など修繕が必要と思うが、どのように認識しているか。

問 天神橋～南園部間の
県道整備を
東西の基幹道路として
位置付けています



答

栗 岩 輝 治



狭く事故が心配される道路

答 現段階では通行に支障をきたす状況ではないと認識していますが、約30年間使用してきているので、今後計画的に修繕を実施していきます。

問 小見野地区から吉見町への県道で歩道が無い場所があり危険です。徒歩橋手前の今後の整備の予定は。

答 徒歩橋南の歩道未設置区間は今年度工事着手すると伺っております。

問 育英貸付資金は、平成19年に設立され、平成23年度までの4年間貸付実績がないが理由を伺います。

答 昨年6月に貸付制度の大幅な見直しを図り、現在4名の方が貸付制度を利用されております。次世代を担う子どもたちの教育機会が損なわれないよう支援をさせていただくという趣旨で設置した基金ですので、有効活用していただけるよう、今後制度の周知、PRに取り組んでまいります。



問 鮮やかな黄色の花をつけるオオキンケイギクは生態系に重大な影響を及ぼすため、平成18年2月から特定外来生物に指定されています。町でも国道沿いや安藤川沿いなど広く分布しています。環境維持のための駆除についての考えを伺います。

答 町内各所で生育が確認されたので、コミュニティセンターの窓口で注意喚起を図ってきましたが、更にホームページや広報紙に掲載するとともに駆除のお願いの回覧をします。



答

問

骨髄ドナーへの 助成制度導入は 福祉サービス利用を

新井悦子

問 空き地、空き家に生育している場合は環境保全条例に基づき調査し地権者にも駆除の指導をまいります。

答 子どもがケガや病気の回復期の町では平成26年までの目標が実施検討となっているが町の見解は。

問 今年度保護者のニーズ調査を実施し、病後児保育などを含め子育てについて援助し合う、緊急サポート事業について検討していきます。

答 平成24年9月、造血幹細胞移植推進法が公布され、骨髄バンクに登録をした方が入院・退院時の休業補償がないなど、ドナーの負担が重いため、命のボランティア支援をするドナー助成制度の導入について伺います。

問 ドナー助成制度の導入は現段階では難しいと考えています。しかしご家族の介護や子育てなどの不安があるドナーの方への負担軽減として、福祉サービスを利用していただけるよう周知を図ってまいります。

問 現在の児童数は。

答 6校中4校で全児童数が1000名を下回っています。

問 今後の児童数の推移は。

答 現在の未就学児の人数を見ると更に児童数は減少していくと予測されます。

問 減少する児童数の現状をどのように捉えているのか。

答 学校規模の適正化は教育分野のみならず地域社会に密着した大変重要な課題であり、私の公約の中でも大きな項目の一つであります。

問 今後どのように進めるのか。

答 検討委員会の中で本町の小学校

問 小学校の統廃合の考えは

答 学校閉鎖は考えていません

証 土 祖 道



小学校の授業風景

問 小学校の統廃合の考えは。

答 学校閉鎖は考えていません。全体的の中でどうするか考えています。

問 平成22年10月18日に川越市と川島町間でごみ処理広域化について合意しましたがその後の状況は。

答 事務担当レベルの協議を平成23・24年に各5回行い現状把握やごみ量の将来予測、施設の規模など広域化に向けた検討結果をまとめています。

問 今までの経緯を考えれば川越市が、ごみ処理施設の用地を確保する事は難しいのでは。

答 川越市から用地確保が難しいとは聞いていません。



問 町税コンビニ納付の効果は

答 納付の利便性、
収納率の向上を見込みます

佐藤 芳男

問 24年度の総収入に対する町税の比率は46・2%と埼玉県23町村中3位と力をつけています。今後の見通しは。

答 景気の変動、地価の変化など予測は非常に困難です。しかしインター北産業団地の開発が税の増収に影響したように今後の開発により、影響するものと推測します。

問 町税のコンビニ納付が可能となりましたが、どの様な効果がありましたか。

答 24時間いつでも納付可能など納

税環境の利便性の確保と収納率の向上を図ります。1年間で、1万600件、金額で1億7600万円のご利用がありました。

問 川島町は子供の成長には適切な運動、調和のとれた食事、十分な栄養が必要であると「早寝・早起き・朝ごはん」など食育等を行っています。「弁当の日」の実施状況は。

答 平成20年度に実施しましたが、現在は行っていません。良い取り組みであると思いますので研究してまいります。

問 生きる力を養うための、食に関する習慣と農業体験学習を一体的に行う、「食農」について伺います。

答 毎日朝食を食べる等の基本的な生活習慣のある子供程、ペーパーテストの正解率が高い傾向があります。川島町は、緑の学校ファーム推進協議会を設置しました。全小・中学校で、農業体験を通して、生きることの基本的な食と農業を学習する食農教育を進めています。

保存版

毎月15日は
ノーテレビの日!
ノーゲームの日!

町の家が川島っ子。学びの日は

- 1 早寝、早起き、朝ごはん
- 2 毎日、宿題、自主学習
- 3 持ち物準備は学びの構え
- 4 読み、書き、計算、基礎練習
- 5 よく考え、疑問に挑戦
- 6 テレビ、ゲームはほどほどに

川島町教育委員会・川島町校長会

一部事務組合議会からの報告

比企広域市町村圏組合議会

菊地 敏昭
飯野 徹也

臨時会は去る5月24日午前10時に開議いたしました。議員18名中、8人の改選がありましたので議席の指定、改選議員の自己紹介の後、議事の進行となりました。

会議録署名議員の指名の後、会期を本日1日としました。続いて常任委員会の選任が行われ、委員長の互選のための休憩となり、再開後、互選の結果発表が行われました。

提出議案の報告上程の後、森田光一管理者から議案の提出理由の説明が行われました。

議案の18号は、議会議員の監査委員でありました田端宇市氏が組合議員を辞職されましたので、新たに金井塚徳一氏の選任に同意を

求めるもので、異議なく承認され可決されました。

議案19号は、消防デジタル無線設備設置工事契約です。

議案20号は、小川消防署に配備するはしご付消防自動車を購入するものです。

議案21号は、ときがわ消防団に配備する水槽付消防ポンプ車を購入するものです。

上程された4議案は異議なく可決承認されました。森田管理者の挨拶の後、閉会となりました。
(飯野)

比企広域市町村組合議会定例会・臨時会

第3回臨時会が平成25年6月26日に、第4回定例会が8月8日開会されました。詳細は次号でお伝えいたします。

川越地区消防組合議会

山田 敏夫
道祖士 証
為水 順二

平成25年第1回定例会は3月28日に開催され、川越市議会会議規則の条例改正に伴った、議員提出議案及び条例改正案を2議案と、24年度一般会計補正予算、25年度一般会計予算について審議されました。

平成25年度予算については、歳入歳出それぞれ48億4344万3千円を定める旨の説明があり、審査に入りました。

審議の中で、平成25年度の具体的な取組み、重点施策4点についての質疑があり、消防救急体制の整備を推進するための事業として、消防車両、消防資機材の整備及び、防火水槽の増設、救急業務体制の整備を図りたいなどの答弁があり

ました。

採決の結果、全5議案は異議なく原案どおり可決決定いたしました。

次に日程を追加し、公平委員会の選任について、同意案件2件が提出され同意決定された後、1名の議員による（障がい者に対する救急対応について）一般質問が行われ、川越地区消防組合第1回定例会は終了いたしました。

（為水）

川越地区消防組合議会臨時会

第2回臨時会が平成25年6月28日に開会されました。川越地区消防組合議会の正副議長選挙と、6議案が審議されました。

詳細は次号でお伝えいたします。

川島町・吉見町視察研修会

川島町議会と吉見町議会での合同視察研修会が7月23日に行われました。

初めに荒川上流河川事務所を視察し、災害対策室の見学や事業概要等の説明を受けました。次に川島排水機場を見学し、操作室やポンプ等の見学、見学、見学は、人口や面積、生活環境など似通った両町というところで今後も交流を重ね、お互いの発展に寄与できるように努力していきます。



川島町議会における災害対策要領

川島町議会は、平成25年2月に、川島町議会災害対策要領を定めました。

これは、川島町内での地震、台風その他の事象による災害が発生した

ときに、川島町議会議員が住民と連携し、情報収集活動や救助活動、及び応急活動をするため、その組織的な災害対策について必要な事項を定めたものです。

組織の内容は、災害のための川島町災害対策本部が設置された場合、川島町議会内に川島町議会災害対策委員会を設置することができます。委員長は議長、副委員長は副議長、

幹事は総務経済建設常任委員長及び副委員長、並びに川越地区消防組合議会議員とし、委員は、委員長、副委員長及び幹事を除く全議員とするものです。

委員会の主な事務内容は、①議員の安否及び居所又は連絡場所の確認を行うこと。②災害情報を整理し、各議員に情報提供を行うこと。③情報収集活動や救助活動、及び応急活動の方針を立てること。④被災者からの相談内容を整理することです。また、災害時の議員行動マニュアルも、初動、初期、中期、後期と分け定めました。

常任委員会所管事務調査

両常任委員会の所管事務調査は次のとおり行われました。

総務経済建設常任委員会所管事務調査

日程

平成25年7月2日・3日

視察先

- ・静岡県南伊豆町
- ・静岡県富士市

視察内容

- ・同規模新庁舎建設の実例について
- ・公共交通のシステム化について

議会を傍聴しませんか？

・誰でも議会を傍聴することができます。
・議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

文教厚生常任委員会所管事務調査

日程

平成25年7月12日・13日

視察先

- ・大阪府豊能町
- ・京都府宇治田原町

視察内容

- ・認定子ども園の取り組みについて
- ・循環型社会実現のための活動について

9月3日(火)

9月の定例会

開催予定です。

議会日誌

5月

- 16日 総務経済建設・文教厚生常任委員会協議会
- ” 議会報編集委員会
- 26日 川島町水防訓練

6月

- 11日 議会全員協議会
- 13日 議会運営委員会
- ” 議会全員協議会
- 17日～21日 6月定例会
- 21日 議会全員協議会
- ” 議会報編集委員会

7月

- 2日～3日 総務経済建設常任委員会所管事務調査
- 11日～12日 文教厚生常任委員会所管事務調査
- 23日 川島町・吉見町議会議員意見交換会
- 議会報編集委員会

8月

- 6日 議会報編集委員会
- 7日 議会運営委員会協議会

表紙解説

8月3日、三保谷地区盆踊り大会が行われました。

夕方になると浴衣姿になった地域の方々が集まってまいります。そして馴染みの曲が流れはじめ、各年代が楽しく踊っている姿が印象的でした。

川島町も人口は減少してきており、昔と比べると盆踊りも少し寂しくなったような印象があります。が、将来、子や孫が帰ってくることを願い、いつまでも地域の盆踊りが続いてほしいと感じました。

(写真・文章／尾崎)

編集後記

早い梅雨明けの後、気温35度が当りまへのなか、参議院選挙が行われました。マスコミの事前予想通り、現政権政党が過半数を制し、政治のねじれが解消されたとの記事が目立ちました。

世界的な規模で動く政治や経済は私達の生活に直接関わります。その光と影の部分を認識し、どのように対処するかが私達にとって大切な課題かと思えます。

土用の入りから、戻り梅雨を思わせる日が続くなか、辺り一面の緑の絨毯も間もなく黄金色に染まり、爽やかな秋風までもうひと息、町内の皆様もご健康に留意され、暑い夏を元気に乗り切ってくださいませ。う、ご祈念を申し上げます。

(土屋)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 尾崎 宗良 |
| 副委員長 | 土屋 祥吉 |
| 委員 | 森田 敏男 |
| ” | 爲水 順二 |
| ” | 栗岩 輝治 |
| ” | 新井 悦子 |
| 相談役 | 菊地 敏昭 |